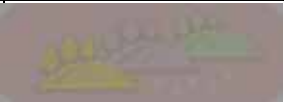
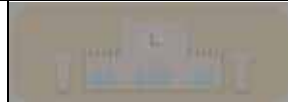


プログラム名		木とあそぼう！							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	木も僕たちも支えあって生きている							
	発見・体験 できること	・木の大きさの違いや、感触、においなどに気づく							
参加者のめやす		幼児 ３０ 人 / 支援者 ２～３ 人							
実施時間		３０ 分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
									
時 間	活 動				●配慮・アドバイス ◎アレンジ				
５分	①「きつつき」になって森を見る ・「きつつきさん」のおひっこし の遊び方を聞く				●ビニールひも（赤・青・黄 各２本）を事前に木にくくっておきましょう。 ●木には細い太いがあることに気づかせ、興味を持たせるようにしましょう。 ●遊び方を伝え、遊びへの期待を持たせると良いでしょう。				
１０分	②「きつつきさん」のおひっこし遊びをする ・木の感触などを楽しむ さわる たたく におぐ 音を聞く 抱きつく ・１回練習、３回ぐらいゲーム				●ゲームの中で木の感触やにおいなどを体感できるように、木と触れ合う活動を取り入れましょう。 ●子どもの発見・つぶやき・おどろきなどに共感し、他の子どもたちにも知らせると良いでしょう。				
３分	③モリモリマン発見 ・インタビューと紹介 				●ゲームの途中にモリモリマンを見つけることで遊びを盛り上げ、自然の森がより身近なものに感じられるようにしましょう。				

時 間	活 動	●配慮・アドバイス ◎アレンジ
7分	④モリモリマンと遊ぼう！ ・かくれんぼをする ・お助けマン登場 ・オニ：モリモリマンとお助けマン ・子どもたちは木のかげなどに隠れる  ・見つかった子は、指定の所へ集まって手をつなぐ	●園庭でしているかくれんぼを、自然の森でやってみることにより違いを感じられるようにしましょう。  ●かくれる場所を見つけて、太い木にはかくれられるが細い木にはかくれられない事など、木の大きさ・太さの違いを感じられるようにしましょう。 ●木と友だちになって上手にかくれられたことを認め、満足感を持たせるように一人ひとりに声かけをしていきましょう。 ●見つかった子どもから指定の所に集まって行くことで、最後までゲームに興味を持って取り組めるようにしましょう。
2分	⑤全員が手をつないで、輪になる	●みんなが手をつないでいくことで、たくさんの木が囲めた驚きや喜びを感じられるようにしましょう。
3分	⑥手をつないで上を見上げる ・森の木が助けあっている事に気づく	
【異年齢への対応】 ◆年少：「きつつき」のお面をつけてなりきりで（飛んでみよう・お家を見つけよう・誰かちゃんのお家にお引っ越ししようなど）してみましょう。 ：「モリモリマン」と「きつつき」の鬼ごっこ（石・枝を取り除いて場所を限定）にしてみましょう。 ◆年中：		
【園や家庭に帰ってから】 ◆園庭で木や遊具などを使って、木の違いや感触・温かさ・冷たさなどに気づかせましょう。 ◆家庭で「かくれんぼ」をして、家具や壁などに触れて自然物との感触の違いに気づかせましょう。		
準備物・教材等	・ビニールのひも（赤・青・黄 各2本） ・モリモリマンの衣装（お面・マント） ・お助けマンの衣装（お面・マント 各人数分）	

